

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

| ①豊かな心をはぐむ教育の推進 | | |
|---|---|---|
| 1 一人一人の児童生徒の尊重 幼稚園は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていますか。 | 2 友達への思いやり 子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。 | 3 道徳・心の教育の充実 幼稚園は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど) |
| | | |
| 【園から】○教職員は一人一人の子どもを大切に指導や対応を行い、クラス懇談会等でも説明してきた。昨年と同様、保護者からは〔4〕〔3〕がほとんどだが、わずかに〔2〕もある。保護者一人一人が教師の指導や対応を理解してもらえるような手だてを考える。○友達への思いやりについて、保護者の中には「2」の意見も見られるので、学級懇談や個人懇談を通して子どもの育ちを説明するとともに、家庭と情報交換を密にし、寂しい思いをしていないか把握し、心の通った対応をしていきたい。 | | |

| ②確かな学力を育む教育の推進 | | |
|---|--|--|
| 4 意欲的な学習態度 子どもは、自分の思いを十分に表し意欲的に活動していると思いますか。 | 5 授業力向上 先生方は、子どもの遊びや生活の充実に努めていると思いますか。 | |
| | | |
| 【園から】○意欲的に活動している幼児も、教師の保育力についても、「3」「4」の割合は大きい。教師の保育に対する意欲や誠実さが幼児の主体性につながったものと思われる。しかし、保護者からの評価には、「もっと意欲的に活動してほしい」との願いが見られる。今後も、幼児一人一人の興味や関心を捉えた環境づくりや援助を工夫していく。 | | |

| ③健やかな体を育む教育の推進 | |
|--|--|
| 7 健康づくり 子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。 | |
| | |
| 【園から】○園便りや県の広報紙の配付や保育参観、学級懇談等で話題にして家庭への啓発を行い、子どもたちへ指導もしてきた。生活に必要な習慣は、今後も繰り返し啓発していく必要がある。 | |

| ①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実 | | ②特別支援教育の推進 |
|--|---|--|
| 8 児童生徒理解 先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。 | 9 いじめや問題への対応 幼稚園では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。 | 10 幼稚園の支援体制 幼稚園は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。 |
| | | |
| 【園から】○幼児理解については、昨年度の結果とほとんど同じ結果である。学校評議員の評価を励みに、幼児理解に務める。○いじめや問題への対応について、保護者からの1割は〔2〕の評価だった。また、教職員からは全て〔4〕の結果ではなかった。幼児の乱暴な言葉や行動をいじめにつながるものと自覚して丁寧に対応していく。○特別支援教育については、園全体で協力し合って支援が必要な幼児にかかわっていることを理解してもらったことで、〔4〕〔3〕の評価がほとんどを占めた。保護者へ特別支援教育への関心を高め、理解してもらえるような取り組みを今後も続ける必要がある。 | | |

| ①子どもたちの身近な安全対策の充実 | | ②最適な学習環境の整備 |
|--|---|---|
| 11 安全と事故防止 幼稚園は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。 | 12 施設・設備の安全管理 幼稚園の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。 | |
| | | |
| 【園から】事故防止のため、日頃から遊具や用具の使い方について指導を繰り返していること、避難訓練や交通指導を定期的に行い、緊急時の安全確保の仕方や交通マナーが身に付くよう努めている。 | | 【園から】○毎月複数で施設安全点検を入念に行い、危険箇所は速やかに修理をしているが、全体の1割ほどが〔2〕〔1〕である。安心して園生活を送ることができるように環境整備を心がける。 |

③家庭・地域社会との連携強化

| | |
|--|---------------------------------------|
| 13 教育方針・目標の理解 | 14 家庭や地域との連携協力 |
| 幼稚園は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。 | 幼稚園は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。 |
| | |
| 【園から】○保護者へは、園便り、クラス便り、全体会、懇談会などを活用し、教育方針・目標を伝え、幼児には始業式・終業式・集会、掲示等で伝えてきたが、保護者には十分に伝わっていないことが分かったので、誰にでもわかりやすく伝える努力を続けていきたい。○家庭や地域との連携が十分でないとの結果が少数の保護者から表れた。引き続き一人一人の思いや意見を真摯に受け止めつつ、園の教育方針を理解してもらいながら教育活動を進めていきたい。 | |

⑧本校の教育

| | | |
|---|--------------------------------|-------------------------------|
| 15 1 | 16 2 | 17 3 |
| 子どもは、場に応じたあいさつを進んでいると思いますか。 | 子どもは、自分の思いや考えをことばで伝えていると思いますか。 | 子どもは、生活に必要なことが自分でできていると思いますか。 |
| | | |
| 【園から】○「場に応じたあいさつをする」「自分の思いや考えをことばで表現する」「生活に必要なことを自分でやる」は、どの目標も園では教職員一同、指導を共通化して取り組んできたが、保護者からの〔2〕の意見を真摯に受け止めて今後も取り組んでいく。「生活の自立と遊びの充実」をめざし、園の取り組み状況を伝えることで家庭の理解を図り、連携して身につくようにしたい。 | | |

来年度の具体的な取り組みについて

- 教育目標方針や指導の様子については、学級・園便り、保護者会などあらゆる機会を通して情報発信を行うとともに、複数個所に掲示する。
- 活動への意欲が高まるような教材研究を続けていくとともに、子どもの記録をもとに個に応じた育ちを明確にして指導を積み重ねていく。
- 幼児の実態を明らかにし、挨拶、生活習慣については、園での取組を伝えたりアンケートによる啓発活動を行ったりしながら、家庭と連携して指導していく。
- 安全教育や豊かな心の育成の面から、保護者・地域との情報の共有をさらに進めていく。
- 施設設備の安全管理については、月1回の点検を欠かさず、大規模な修理・修復については委員会と情報交換を行いながら対応していく。
- 食育については、旬の野菜や果実との出会いや食体験を年間計画に位置づけて、栽培や収穫体験と味わう楽しみが広がるように展開していきたい。
- 体力向上としては、クラス全体で取り組む年齢に応じた体を動かす活動と、園全体で楽しむ「なかよしタイム」の年間指導計画を見直したり、保護者との触れ合い活動を設定したりして、さらに指導を積み重ねていきたい。

学校関係者評価

- 【保護者から】
- 全職員で子どもたちを温かく見守り、言葉をかけてもらっていることが安心感につながっている。
 - 先生のかかわり（温かいまなざし・かかわり方）に感謝している。家庭でも真似たいと思うことがある。
 - 食体験活動（芋汁・干し柿作り）は食育につながり、よかった。
 - 豊かな体験のために、保育活動の中で、飼育動物と触れ合う機会を多く作る必要がある。
 - 保育参観や行事手伝いの機会を積極的にに行い、連絡の徹底を図り、連携を深めていく。
 - 子どもの成長を捉えて保護者に伝えてくれている。
- 【学校評議員から】
- 一年間子どもの姿を見てきて、成長が分かる。年長児は1年生に向けてしっかりしてきた。周りの状況に応じて友達とタイミングを合わせたり自分の役割を果たしたりしながら活動に取り組むことができる。全クラスとも、友達を応援したり助けたりし、一体感が感じられる。園長の話で大瀬で聞く態度も身につけている。○全職員で、保育に一生懸命取り組んでいる。生活の基は「あいさつ」である。園の取組とともに、親がまず子どもの手本を示すべきだと思う。